

世界に平和を・戦争の基地はいらない

横田基地ミニ情報 2020.4.5 No.376 東京・羽村平和委員会発行



横田基地で横田の輸送機が滑走路以外で初の強襲着陸訓練

2020.4.4

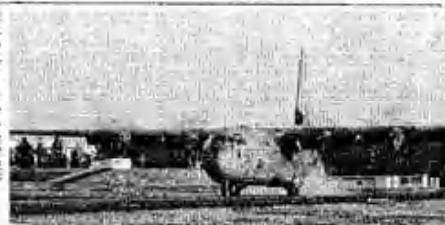
輸送機が強襲着陸訓練

横田基地 滑走路以外で初

在日米軍横田基地（福生市など東京都多摩地域）で同基地配備の最新鋭の米空軍C130J輸送機が、滑走路以外で初の強襲着陸作戦訓練をしたことが、3日までにわかりました。強襲着陸作戦は、最前線に物資や兵員を輸送するために不整地や整備されていない滑走路に強襲着陸するもの。横田基地が、米軍が軍事作戦する地域への輸送拠点として強化されています。

横田基地の米空軍第374空輸航空団が3月30日に公表したニュースによると、訓練は同26日に、滑走路東側に平行するフォックスロット誘導路で実施。目的は、短距離で狭く込み合い地上に線の表示がない場所での着陸に熟達することです。

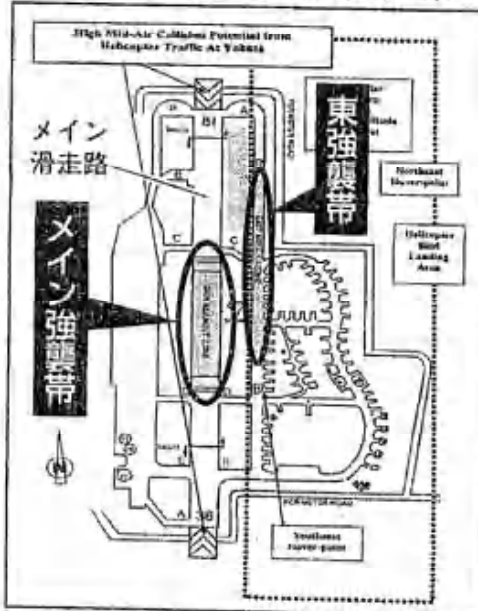
横田基地には、メイン滑走路と同誘導路に強襲着陸帯が設けられています。旧型のC130Hが、同誘導路で1991年〜2001年まで訓練していましたが、その後は、メイン滑走路を使用していた。



誘導路を使い強襲着陸訓練をする米空軍C130J輸送機。3月26日、東京・横田基地（米国防務省動画画像配信サービスVIDS）

ました。米空軍のC130J輸送機の機長は大重量、夜間の暗視ゴーグル着用などを含め半年間で12〜20回の強襲着陸訓練を受けました。

横田基地内の強襲着陸帯



※横田基地で開かれた航空機空中衝突防止会議の資料から作成(2013年4月21日)

横田に無人機格納庫

米軍計画 他国偵察の拠点化狙う

2020.3.28

練を義務付けられている。米太平洋空軍は17年から、前方展開しているあらゆる部隊に、潜在的な有事に備え、緊急に輸送支援を実施する「迅速戦闘業務」(ACE)態勢の強化を図っています。2月には、横田基地とアーカンソー、テキサス両州



のC130部隊も参加して三沢(青森県)、横田、沖縄県の嘉手納、普天間の各基地でACE訓練を実施。今回の強襲着陸訓練もACE態勢強化の一環です。

横田基地所属のC130J30がCVオスプレイが訓練を激化させている目がはなせない監視を強めよう!

在日米軍横田基地（東京都多摩地域）に無人偵察機RQ4Bグローパーホークの整備格納庫の建設を計画していることが16日まで、米空軍の契約情報でわかりました。グローパーホークは2017年と19年に横田基地に展開しています。整備格納庫建設は、横田基地を中国や朝鮮半島などインド太平洋地域での無人偵察機の作戦拠点として固定化し、強化することになります。



横田基地に着陸する無人偵察機グローパーホーク。2017年8月29日

契約情報は、横田基地の米空軍第374契約中隊が公表したもので、鉄骨や鉄扉、外装

の金属パネル、金属パネル付き断熱材などのあらかじめ規格化した部材や設計で建設する、格納庫用の事前設計施行建築物(PEB)の供給可能な業者を日本国内で選定する市場調査です。20日が応募期限となっています。

横田基地には17年5〜7月と19年8〜10月に展開。19年の展開の前には、横田基地内に専用の駐機場が建設されるなど、同機を横田基地で運用する施設整備が進んでいました。

機です。2010年9月にインド太平洋地域で初めてクアムに配備されました。13年の日米外務防衛担当相会談「2+2」でクアムから日本へのローテーション展開に合意。夏季の台風などの悪天候を回避し安定的に運用するためなどとして14年から三沢基地(青森県三沢市)、横田基地に展開していましたが、

オスプレイ

12機訓練へ 東富士演習場 29日から最大規模

2020年3月27日 (金曜日)

陸上自衛隊東富士演習場（静岡県御殿場、裾野両市と小山町）で米軍が、29日から過去最大規模のオスプレイ12機の訓練を予定していることが、26日わかりました。オスプレイの訓練に反対する住民団体からは「米軍は海外への出撃のための使

い勝手のいい訓練場として利用している」と怒りの声が上がっています。

「オスプレイに反対する東富士住民の会」が、御殿場市に確認したところ、3月29日、4月4日に4〜12機が演習場全域で空挺（くうてい）降下を含む離

着陸訓練を実施するところがわかりました。山梨県の北富士演習場（富士吉田市、山中湖村）でも4月1日、4機の米海兵隊MV22オスプレイが離着陸訓練をする計画です。

MV22の普天間基地（沖縄県宜野湾市）配備（2012年）の際

の米軍「環境レビュー」では、隣接する米海兵隊キャンプ富士への訓練のための展開は最大6機。今回はその2倍です。

北富士演習場全面返還・平和利用県民共闘会議（北富士県民共闘）の普沢三郎事務局長は「突然これだけ大



規模な訓練をするのは異常です」と話します。北富士県民共闘は、27日に山梨県に対応を申し入れます。

東富士演習場でのMV22の訓練では、16年11月に普天間基地から飛来した7機が最大。19年1月以降はMV22の訓練はありません。

この大規模訓練は
実施されなかった
コロナのせいかな？

住民ら「日本を米軍出撃拠点にさせない」

在日米軍横田基地（東京都多摩地域）配備の米空軍特殊作戦機CV22オスプレイがタイで行われた米軍を中心とした多国間演習で、特殊部隊を最前線に投入する訓練を実施しました。オ

タイ演習参加

スプレイ配備に反対し横田基地の撤去を求める平和団体や周辺住民からは「日本を海外で危険な軍事作戦をする米軍の拠点にすることは許せない」と怒りの声が上がっています。

（佐藤つよし）

横田オスプレイ 危険な特殊部隊訓練

横田基地の監視活動を続けている東京都羽村市の羽村平和委員会によると、配備されているオスプレイ5機のうち、4機が2月19日に横田基地を離陸し岩国基地（山口県岩国市）、嘉手納基地（沖縄県）を経由しタイへ向かい、2月24日から3月6日の多国間演習「コブラ・ゴールド2020」に参加。演習を終えたオスプレイは嘉手納、岩国両基地を経由して9日に、横田基地に戻りました。岡山県倉敷市でも4機の飛行が目撃されました。コブラ・ゴールドで行った訓練は、他国の領域



横田基地のCV22オスプレイから降下する米陸軍特殊作戦部隊「グリーンベレー」隊員＝5日、タイ（米国防総省動画・画像配信サービスDVIDS）

まで深く秘密裏に侵入し、敵対勢力の要人暗殺・拉致、人質救出など危険な作戦を行う特殊部隊の投入です。

国防総省動画・画像配信サービスDVIDS（DVIDS）は、オスプレイに乗り込んだ米陸軍の特殊作戦部隊「グリーンベレー」の隊員が行った、敵

高度から降下を始め、低高度でパラシュートを開く訓練の写真を掲載しました。佐世保基地（長崎県佐世保市）配備の米海軍揚陸艦グリーン・ベイの飛行甲板への夜間の離着陸訓練も行いました。

2018年4月に横田基地に事実上配備されたオスプレイは、関東周辺や岩国基地、三沢基地（青森県三沢市）との間のルートでの低空飛行、東富士演習場（静岡県）での離着陸訓練、特殊部隊の降下訓練などを実施。横田基地では同基地のC130輸送機を使い沖繩のグリーンベレーや米海兵隊が頻繁に降下訓練を行っています。

横田基地の撤去を求め、西多摩の会の高橋美枝子代表は「横田基地や日本各地を訓練場にして、米軍の特殊部隊が海外で軍事作戦をしようとしていることに怒りを覚えます。9日に横田基地に帰ってきたオスプレイは、大きな爆音を響かせ、基地西側の瑞穂町、羽村市、福生市の上空を低空で旋回し着陸しました。米国内で特殊部隊員の訓練中の死亡事故が相次ぎ、中断していた横田基地でのパラシュート降下訓練も、タイで行ったことで再開されるのではと不安です。日本を米軍の戦争の拠点にさせないために、オスプレイの撤去、基地返還を求めるたたかいを強めたい」と話します。